

## 1 はじめに

近年図書館は、以前の貸出中心のサービスから課題解決支援や場としての図書館へと求められる役割が大きく変化している。福山市中央図書館でも 2008 年に現在の図書館が移転開館した際、課題解決支援の一環としてビジネス支援サービスを開始した。しかし、担当になって実感したのは、市民のビジネス支援サービスの認知度の低さだった。また私自身もビジネスサービスの担当になったものの、自分の経験不足や知識不足を実感した。そしてこの状況を打破するために、ビジネスライブラリアン講習会を受講することにした。

今回の研修をきっかけに、福山市図書館が一層福山市に貢献し市民のための図書館となるためにできることを、ビジネス支援の観点から検討する。

## 2 福山市の現状と課題

福山市は広島県の東部に位置し、人口は中国地方第 4 位の 46 万人<sup>1</sup>である。福山市のほか広島県三原市・尾道市・府中市・竹原市・世羅町・神石高原町と岡山県笠岡市・井原市の 7 市 2 町で構成する備後圏域の中核都市<sup>2</sup>でもある。

現在はものづくりの街として発展し、特にデニムは国内生産量の約 8 割を福山市内で生産する一大生産地である<sup>3</sup>。また鉄鋼業も鞆の浦を中心に古くから盛んで、現在では JFE スチール西日本製鉄所（福山地区）も稼働している。このほかにもオンリーワン・ナンバーワンの中小企業<sup>4</sup>も多い。しかし、中小企業が多いために人口減少による人材不足、また広島県内の 6 割以上の企業が後継者不在の現状になっている<sup>5</sup>。

地方において人口減少は共通の課題だが、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2040 年には福山市の人口は約 41 万人まで減少すると予測されている<sup>6</sup>。また報道によると広島県全体での人口流出は 3 年連続で 47 都道府県 1 位であり 1 万 1409 人にのぼる<sup>7</sup>。人口減少が続くと、後継者不足以外にも公共交通の維持が難しくなり生活利便性が低下したり、地域の担い手が減りコミュニティの維持が困難になったりすることが考えられる。<sup>8</sup>

福山市はこの人口減少の対策強化を「福山みらい創造ビジョン」の 3 つの柱のひとつに設定し、毎年「人口減少対策アクションプラン」のなかで人口減少の現状と原因を詳しく分析している。分析の結果は次のとおりである。<sup>9</sup>

- ・ 20 歳～24 歳の世代の転出が 405 人と最も多く、次に 15 歳～19 歳の 153 人と若者世代の人口が流出
- ・ 就職や進学での転出が多く、特に高校卒業時には約 6 割が市外に進学

- ・「福山地方雇用対策協議会会員企業の従業員（新卒採用後5年以内の従業員）への意識調査」（2022年9月）によると、社会人になって感じる市内企業に就職する際に不足していることの上位3つは「魅力ある企業の誘致」「働きやすい職場環境等の紹介」「子どものころからの地域への愛着醸成」
- ・福山市「市内大学生等への就職に関するアンケート調査」（2022年12月～2023年1月）によると、大学生の50%以上が市内企業を10社以上知らない

これらの分析結果から、学生の地元定着を促進するための課題として「働きやすい企業・職場環境づくりと情報発信強化」「市の魅力向上」「地元への愛着の醸成」の3点を挙げている。<sup>10</sup>

### 3 福山市中央図書館ビジネス支援サービスの現状と課題

前述したとおり、福山市中央図書館のビジネス支援サービスは2008年に現在の図書館が移転開館時に始まった。経済書やビジネス関連本を集めたビジネス支援コーナーを設置しており、地元企業の社史を集めた社史コーナーには100冊弱の備後圏域の社史がある。また中小企業診断士によるビジネス相談会やビジネス資料のテーマ展示を毎月行い、企業情報や業界情報を知るためのパスファインダーも作成している。

しかし2022年7月に行われた「福山市市政モニターアンケート調査報告書」によると図書館のビジネス支援サービスを知っていると回答した人は全体の5.5%にとどまっている<sup>11</sup>。この要因として次の2点が考えられる。

1点目は図書館のビジネス支援サービスの情報発信の多くが図書館内で完結していることである。図書館が図書館の外にむけて行っている情報発信のなかで、ビジネス支援サービスに関する情報は、市役所の各支所や市内中心部の銀行等に配布しているビジネス相談会のチラシと福山市図書館フェイスブックに限られる。例えば、毎月ビジネス資料のテーマ展示をしてもいつどんな展示をしているのかは、中央図書館の来館者でなければ知ることができない。図書館ホームページにもビジネス支援について掲載しているが、トップページの一目でわかる場所にはビジネス支援の文字はない。そもそも図書館ホームページにアクセスする人は図書館に興味・関心を持った人に限定されており、受け身の情報発信になっている。

2点目は次にビジネス支援コーナーがほかのエリアと一体化してしまい埋没していることである。福山市のビジネス支援コーナーは経済書や商業に関する分類の本を集めてコーナーを作っている。棚に「ビジネス支援コーナー」というサインを掲示しているものの、基本的には他のコーナーや棚と同じ作りである。利用者の多くは、料理本はこの棚、小説はこの棚といったように、コーナーとしてではなくビジネス書はこの棚という認識になっているように感じる。

## 4 事業の提案

### 4.1 概要

「2 福山市の現状と課題」と「3 福山市中央図書館ビジネス支援サービスの現状と課題」をもとに、図書館では学生の地元定着を促進するための課題解決として、企業に対しては「働きやすい企業・職場環境づくりと情報発信強化」、学生に対しては「地元への愛着の醸成」に関する事業を提案する。

### 4.2 企業向け支援の内容

#### (ア) 地元企業紹介コーナーの設置<sup>12</sup>【情報発信強化】

地元企業を市民に知ってもらうために、図書館内に地元企業の紹介コーナーを設置する。図書館は不特定多数の人が来館する場所である。そこで地元企業の協力のもと、図書館に製品の常設展示コーナーを設置する。製品の入れ替えは半年に1度程度、製品の大きさにもよるが一度に10社程度を想定する。企業にとっては図書館が無料で不特定多数の人に自社をアピールすることができる場所になる。そのほかにもコーナーには掲示板を設置し、地元企業の新聞記事や市の取組である「グリーンなものづくり企業チャレンジ宣言」<sup>13</sup>を行った企業の紹介を掲示する。

#### (イ) 地元企業への情報提供【働きやすい企業・職場環境づくりと情報発信強化】

前述のとおりビジネス支援サービスの認知度は5.5%に過ぎない。そこでまずは図書館のビジネス支援サービスを知ってもらうために、福山市商工会議所や福山地方雇用対策協議会と連携して、メールマガジンでの情報提供<sup>14</sup>を行う。以前社史の募集を福山地方雇用対策協議会のメールマガジンで呼び掛けたところ、複数の問い合わせがあったことからアプローチとして有効である。情報発信の内容は、新刊ビジネス書の紹介や情報収集に役立つ図書館利用術などを想定する。ほかにも「グリーンなものづくり企業チャレンジ宣言」など市の取組へのハードルが高いと思っている事業者もいるだろう。そこで市のSDGsなど市の取組に関する資料の紹介も行う。

#### (ウ) ビジネス支援コーナーの資料の見直し【働きやすい企業・職場環境づくり】

企業に対して情報提供やフォローを行うためには、企業が求める情報を図書館が把握する必要がある。そこで福山市商工会議所と連携して、地元企業に対し「企業経営を行う中でどんな情報を求めているか」という内容でアンケートを実施し、結果をもとに図書館の選書を検討する。更にメールマガジンで購入した資料の紹介を行えば、地元企業の図書館利用につながり、図書館と企業を結ぶきっかけにもなる。

また現在、福山市図書館では専門紙を受け入れていない。専門紙は詳細な業界情報を正確に早く知ることのできるツールであり、今回の講習会でも何度も紹介された。市の主要産業である繊維や鉄鋼を中心に専門紙の収集を行う。データベースでは新たに「MieNa（市場情報評価ナビ）」を導入し、市場調査はもちろん福山市のまちづくりへの活用も想定する。

### 4.3 学生向け支援の内容

#### (ア) 講座やイベントの開催

「地元への愛着の醸成」をメインにアプローチを行うため、福山市を知ってもらう、興味をもってもらうための講座を開催する。対象は学生に限定せず誰でも参加できる内容にするが、福山市の産業や歴史、文化に学生が興味のある内容を組み合わせることで学生が参加しやすい講座にする。講座において図書館は場所と資料・情報の提供を行い、講座の講師等は関係課や関係企業・団体、関係施設に依頼する。

#### 【講座の例】

テーマ	内容と連携先	図書館で提供できる資料
江雪左文字 ×鉄鋼	ふくやま美術館所蔵の江雪左文字や刀の歴史から鉄鋼について知る 連携先：ふくやま美術館 鉄鋼製造関連事業者	刀剣や鉄に関する資料 鉄鋼関連企業の社史 製造地域（東部・南部）の地域資料
デニム ×備後緋	デニムのファッションショーや着こなし術の講座と福山市がデニムの一大産地となった歴史を合わせて知る 連携先：産業振興課 デニム関連事業者 福山市しんいち歴史民俗博物館	ファッション雑誌 アパレル、繊維関係資料 繊維企業の社史 生産地域（北部）の地域資料

講座はビジネス支援が目的ではなく、あくまでも福山市の魅力に気づいてもらうことが目的である。また次にあげる講座のように図書館を拠点に図書館隣接の中央公園、商店街、福山駅周辺の美術館・博物館、官民連携の商業施設 iti SETOUCHI などの周辺施設を回遊する内容にして行えばウォークブルなまちづくり<sup>15</sup>にも生かすことができる。

#### 【講座の例】

テーマ	内容と連携先	図書館で提供できる情報
謎解き ×福ミス	ばらのまち福山ミステリー文学賞の作品をモチーフにした謎解き 連携先：文化振興課 福山駅周辺再生推進課 ふくやま文学館 出版社、地元書店 福山市の謎解き制作チーム 商店街、iti SETOUCHI	福ミスの過去受賞作ほか ミステリー小説 市内中心部の地域資料

普段から図書館には勉強をする学生の姿が多く見えるが、これらの講座をきっかけにさらに多くの学生を図書館に呼び込みたい。その際、図書館に地元企業紹介コーナーがあれば、学生は図書館に来ることで地元企業についても知ることができるという一石二鳥の仕組みになる。場合によっては、コーナーに製品が展示されている企業と関係したテーマで講座を行い、その企業にも参加してもらえればより参加者の興味関心を得ることができるのではないか。

また学生にアプローチをする際には、教員など学生にとって身近な大人に働きかけることが大切である。講座に学生を呼び込むためにも、学校等への訪問・交流を行い、普段から教員との関係性づくりが必要である。

## 5 おわりに

図書館は本やインターネットに限らずまたジャンルも問わず、さまざまな情報が集まり還元される場所である。また地元の歴史や文化に関する情報が多く集約されていることは公共図書館の大きな強みでもある。これらのことから、今回提示した内容はもちろん、図書館はどんな課題に対しても支援ができる場所だと改めて思った。

またビジネスライブラリアン講習会の常世田理事長の講義で「地方にこそ質の高い図書館が必要」<sup>16</sup>という話があった。県立図書館のある県庁所在地からも離れた福山市には、なおさら質の高い図書館が必要だと思う。今回の講習会では新たな知見や多くの仲間と出会うことができた。この経験をビジネスライブラリアンとして、しっかりと地域に還元していきたい。貴重な経験の場を用意してくださった事務局や講師、受講生の皆様ありがとうございました。

---

【参考文献】(URL はすべて 2024 年 3 月 19 日最終アクセス)

- <sup>1</sup> 2023 年度福山市世帯数及び人口 - 福山市ホームページ  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/shimin/293805.html>
- <sup>2</sup> 福山市のあゆみ - 福山市ホームページ  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/profile/2545.html>
- <sup>3</sup> デニム - 福山市ホームページ  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/miryoku2023/287847.html>
- <sup>4</sup> オンリーワン・ナンバーワン企業 - 福山市ホームページ  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/sangyou/56573.html>
- <sup>5</sup> 「福山市産業振興アクションプラン」 p21  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/attachment/214210.pdf>

- 
- <sup>6</sup> 日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計） | 国立社会保障・人口問題研究所 <https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/t-page.asp>
  - <sup>7</sup> 「イチからわかる 広島県の転出超過 多いのはなぜ？」『中国新聞 2024年3月15日朝刊 備後版』25面
  - <sup>8</sup> 「福山みらい創造ビジョン」  
[https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/life/268450\\_1472625\\_misc.pdf](https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/life/268450_1472625_misc.pdf)
  - <sup>9</sup> 「福山みらい創造ビジョン 人口減少対策アクションプラン 2023」  
[https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/life/292082\\_1666359\\_misc.pdf](https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/life/292082_1666359_misc.pdf)
  - <sup>10</sup> 前出9 「福山みらい創造ビジョン 人口減少対策アクションプラン 2023」
  - <sup>11</sup> 「2022年度（令和4年度）第1回福山市市政モニターアンケート調査報告書」 p75-77  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/attachment/239644.pdf>
  - <sup>12</sup> 小林隆志, 講義資料「戦略的ビジネス支援サービスの展開」, 第23回ビジネスライブラリアン講習会,2023
  - <sup>13</sup> グリーンなものづくり企業チャレンジ宣言について - 福山市ホームページ  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/sangyou/317964.html>
  - <sup>14</sup> 土井しのぶ, 講義資料「実践力養成【実践事例】広島市立中央図書館におけるビジネス支援サービス」, 第23回ビジネスライブラリアン講習会,2023
  - <sup>15</sup> 「福山駅前再生ビジョン」  
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/attachment/105106.pdf>
  - <sup>16</sup> 常世田良, 講義資料「まとめ一再考：図書館員の意識改革」, 第23回ビジネスライブラリアン講習会,2024